

# 霊泉湧き出る温泉街と そこで生まれた食文化

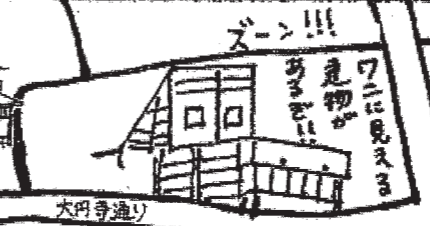
修験の霊山・あじき山に抱かれた大鰐温泉は、津軽の  
医産歌・江戸時代には穀種も土農工商も、昭和には  
お大尽も庶民も芸者さんも集った名湯です。  
その想像を超える賑わいのものがたりは、いまもこんこんと  
わき続ける温泉とともに、町のあちこちで輝いています。



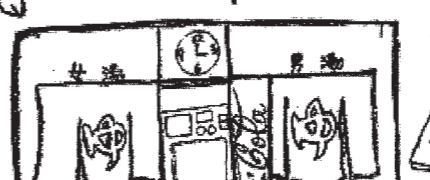
**大湯会館**  
痛みに悩まされた丹智上人の「おかげ」  
夢に現れた童子のお告げにより  
発見された温泉です。土用丑の日には  
祈禱式が行われ、その湯に入ると一年間  
無病息災に過ごせるといわれて  
います。



**【マル汁】味噌油**  
創業明治39年。日本では  
珍しい温泉醸造にて作り  
れる。おき、しょうゆは  
町に誇る名産品です。  
おき、しょうゆの  
風味と自然な  
味わいで  
お土産にも  
重宝します。

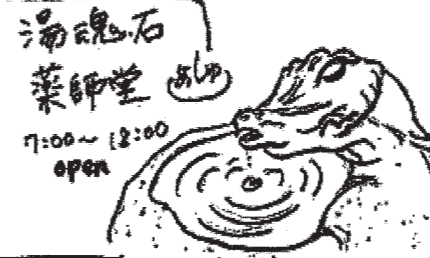


**山 青柳会館**  
青柳湯は冷にして川原湯と称し、  
皮膚病には効果あり。  
平賀川能温泉より、  
昔は川辺にあったことから、  
青柳原川の湯とよばれていました。  
町内では未だに通称「カラツ」



**山 若松会館**  
若松湯は熱湯にしてリンゴやリンゴ  
に造り、平賀川能温泉より、  
茶臼山公園の麓に位置し、建物の  
一部が大鰐地区の公衆浴場を  
管理する大鰐財産区が  
事務所となっています。

**湯石 菜師堂**  
7:00~12:00 open  
津軽初代藩主  
善信の夢に現れた  
菜師如來のお告げ  
により発見された  
とされる温泉で、  
善信の難治の腰痛  
が、その湯で治った  
とされています。  
これにより、  
この足湯は町民や  
観光客の憩いの場  
になっています。



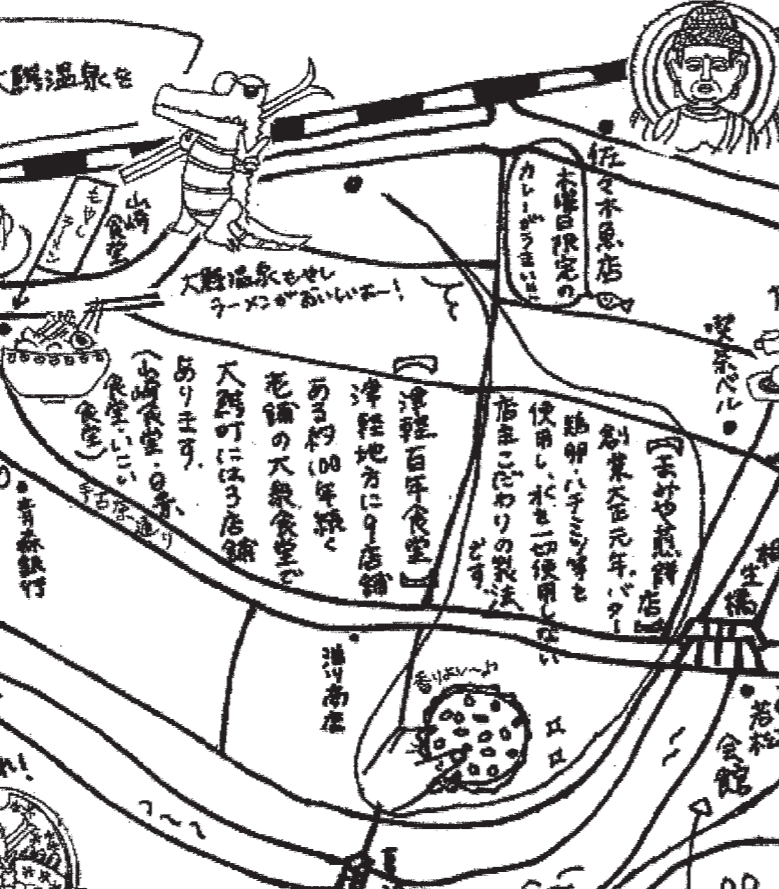
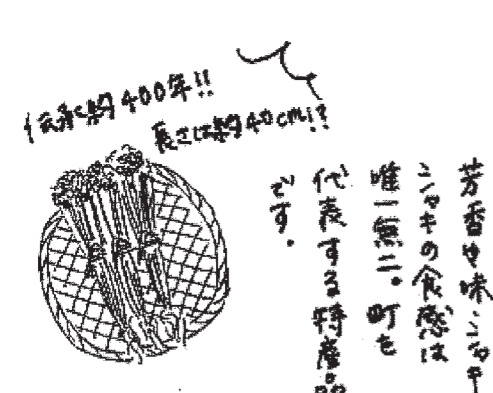
**駅前おひたし足湯(あしゆ)**  
大鰐温泉駅舎に出でてください！歴史ある大鰐温泉を  
気軽に楽しむことができます。  
7:00~18:00 open



**橋のまち大鰐町**  
大鰐町は昭和49年に合併するまで、  
平川を挟み北側が蔵館村、南側が大鰐  
村でした。その当時、村を行き来する  
ための橋は一つだけでしたが、合併後  
たくさん橋がかけられました。



**大鰐温泉おひたし**  
江戸時代より代々  
受け継がれ、津軽の  
お土産にも愛された  
伝承野菜。  
温泉熱・温泉水  
のせいで作られます。  
上野栽培特有の  
芳香や味、ニギハ  
ニギハの食感、は  
唯一無二。町を  
代表する特産品  
です。



**山 若松会館**  
9:00~18:00 open  
坂田信長との戦に敗れ  
旅商人となった工藤助弥の  
夢に現れた観音様の導き  
により発見されたといえる  
温泉です。  
中の橋・大内寺・川といった  
美しいロケーションの中に  
ある足湯です。

**山 大鰐温泉おひたし**  
7:00~18:00 open  
「フニ」のマンホールは町のモト  
クワでも愛用されたフニの  
「フニ」が施されています。とある通りだけ  
あるこの際を探してきては、

**山 大鰐温泉おひたし**  
7:00~18:00 open  
「フニ」のマンホールは町のモト  
クワでも愛用されたフニの  
「フニ」が施されています。とある通りだけ  
あるこの際を探してきては、

